

平成30年度 人吉下球磨消防組合地球温暖化対策実行計画（事務事業編）報告書  
 （人吉下球磨消防組合における温室効果ガス総排出量等について）

1 はじめに

人吉下球磨消防組合では、地球温暖化対策に積極的に取り組むため「人吉下球磨消防組合地球温暖化対策実行計画」を策定し、組合が行う全ての事務・事業活動に伴う温室効果ガス総排出量を令和2年度において、基準年度となる平成29年度と比較し、5%削減することを目標としています。

2 平成30年度の温室効果ガス総排出量とエネルギーの使用状況について

平成30年度における人吉下球磨消防組合の事務・事業活動に伴う温室効果ガス総排出量は二酸化炭素換算で221,956 kgでした。平成29年度と比較すると0.1%の減少となりました。（表1参照）

エネルギーの使用状況については、電気使用料が2.3%減少、灯油が3.2%減少、液化石油ガスが11.6%減少し（基準年度比）目標達成できました。（表2参照）

|              | 平成29年度  | 平成30年度  | 比較増減   |
|--------------|---------|---------|--------|
| 温室効果ガス総排出量kg | 222,147 | 221,956 | 0.1%減少 |

表1 温室効果ガス総排出量

| エネルギー区分     | 基準年度<br>(平成29年度) | 平成30年度  | 比較増減    |
|-------------|------------------|---------|---------|
| 電気 (kwh)    | 225,526          | 220,470 | 2.3%減少  |
| ガソリン (ℓ)    | 24,090           | 25,514  | 5.9%増加  |
| 軽油 (ℓ)      | 11,473           | 13,606  | 18.6%増加 |
| 灯油 (ℓ)      | 11,332           | 10,967  | 3.2%減少  |
| 液化石油ガス (kg) | 1,371            | 1,212   | 11.6%減少 |

表2 エネルギーの使用状況

3 まとめ

今後は、温室効果ガスの排出割合の約4割を占める電気使用量の減少を主体に、目標達成に向けて、計画を進めていきます。（図1参照）

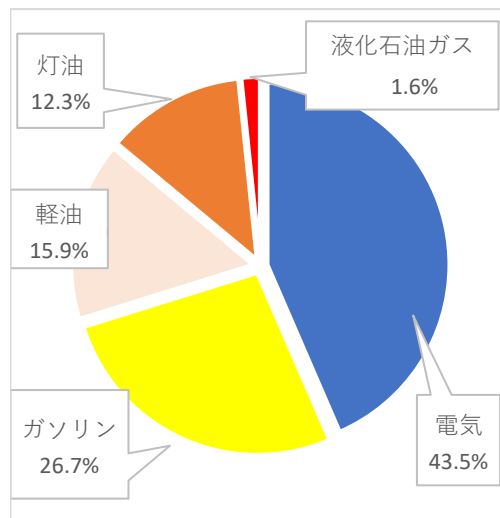


図1 エネルギー別温室効果ガス排出割合